

NEDO 主催の懸賞金活用型コンテスト開催のお知らせ

経済産業省と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」）が衛星事業の発展のために主催する、懸賞金型ビジネスコンテスト「NEDO Challenge, Satellite Data for Green Earth」において、2024年3月18日（月）より公募の受け付けが始まることをお知らせいたします。

▼ NEDO Challenge, Satellite Data for Green Earth

公式ウェブサイト：<https://space-data-challenge.nedo.go.jp>

■衛星データを活用したソリューション開発で環境及びエネルギーに関わる社会課題解決を目指す

「カーボンニュートラル」実現に向けては、再生可能エネルギーの有効利用や植樹による二酸化炭素吸収量の増加など様々な手法がありますが、経済産業省とNEDOが取り組んでいるのは、衛星データを活用したソリューション開発です。2019年より、クラウド環境上で誰でも衛星データを利用できるオープンプラットフォーム「Tellus（テルース）」を展開いたしました。衛星データの活用により環境及びエネルギーに関わる社会課題の解決につながる革新的・独創的なアイデアを募りたいと、このたび開発コンテストを実施する運びとなりました。

■応募テーマは全3テーマ、1次通過者には衛星データプラットフォーム上の開発環境を提供

コンテストでは、技術的にも産業的にも意義が高く、かつ実用化しやすい以下の3テーマについて応募を募ります。

(1) カーボンクレジット基盤構築（グリーン・ブルーカーボン等）

- 森林・農地・水域・海洋等バイオマスのMRV（測定・報告・検証）手

法の開発

- 森林・農地・水域・海洋等の効率的な維持管理等、関係する業界・個人の抱える課題解決
- 上記の複合またその他対象における技術開発

(2) エネルギーマネジメント基盤構築（風力・太陽光等）

- 森林・農地・水域・海洋等バイオマスの MRV（測定・報告・検証）手法の開発
- 森林・農地・水域・海洋等の効率的な維持管理等、関係する業界・個人の抱える課題解決
- 上記の複合またその他対象における技術開発

(3) 気候変動・環境レジリエンス基盤構築（火災・水害・生物多様性等）

- 浸水等の風水害に対する被害把握・軽減、火山・林野等の火災の早期検知手法の開発
- 気候変動、生物多様性等、自然資本の回復に資する環境評価手法の開発
- 関係する事業者・行政等における意思決定の支援や業務の効率化
- 上記の複合またその他対象における技術開発

応募期間は、2024年3月18日（月）～4月30日（水）正午。5月より1次審査を行い、通過した応募者は、衛星データプラットフォーム「Tellus（テラス）」上の開発環境（コンピューティングリソース）を利用することもできます。その後、システム開発及びメンタリングを約6か月間実施。2025年1月に実施予定の2次審査を経て、入賞者を決定いたします。尚、懸賞金額は3月18日に公表予定です。日本国内の個人、法人、グループなら応募可能であり、法人の規模や上場の有無は不問です。自由かつユニークなアイデアを実現したい方、環境・エネルギービジネスを目指す方にとっては、衛星データを使った研究開発やその先の事業化につながるきっかけを得られる懸賞金型開発コ

ンテストです。

【運営事務局】

Web ページ : <https://space-data-challenge.nedo.go.jp>

問い合わせ先 : info@space-data-challenge.jp